



特集 6 あなたの住む町からの情報発信への取組

2 先進的な事例紹介

2.1 中山間地でのICT利活用取組の事例

2.1.1 富士の国やまなし観光コンシェルジェシステム(山梨県)

〔概要〕

山梨県では、産学官が連携して、路線バス情報と観光情報を融合させた全国初の旅行サポートシステムを開発しました。バスの位置、停留所位置、時刻表情報に加え、最寄りの停留所検索、バス停周辺の観光情報などを携帯電話、パソコンから入手できるシステムです。

〔コラム〕

山梨県は本州の真ん中に位置し、富士山や富士五湖、八ヶ岳など豊かな自然にあふれ、国内外から観光客年間約4,800万人が訪れています。首都圏エリアからの観光客の多数はマイカー利用となり、遠方からは、新幹線や空港がないことから電車・バス等の公共交通機関の利用となります。しかし公共交通機関利用の観光客からは、観光スポットまでの所要時間や乗り換え等が分かりにくいなどの声がありました。

そのため、遠方からの観光客の誘客を促進するためにも、鉄道と路線バス等の2次交通とを連携させて公共交通機関利用の増加を図り、かつ、県下の観光スポットを周遊しやすいような情報提供が必要がありました。

高齢化社会、低炭素社会を迎え、また、外国からの個人観光客が増加する中で、県下各地に点在する本県の魅力的な観光スポットを周遊し、滞在していただくためには、路線バスを有効に活用することが不可欠であるため、全県を網羅するバス総合案内情報を備えたバスロケーションシステムと観光情報が連動するシステムの実現を目指しました。

観光情報との連動を目指すためには、全県におけるサービスが必要であり、山梨県内の路線バス会社複数社における既存のバス案内音声合成システムとの連携調整と路線管理調整に多くの時間を費やしました。また、全県サービスに必要な路線バス台数へのGPS機器設置と通信費等ランニングコストを総合的に勘案した導入調整に困難を極めました。

GPS機器は、多機能・高価な既製品を利用するのではなく、当システムの仕様に合わせて機能を限定したオリジナル機器を製作することによりコストダウンを図りました。

路線バスの音声合成装置から路線信号をGPS機器に取り込み、位置情報・時間とあわせて定期的に送信することにより、バス路線情報の自動設定を可能としています。この方法では、運転手のGPS端末操作ミスによる路線の誤表示は無いものの、音声合成システムの改良に相応の経費が必要となりました。小規模な運行台数でシステムを構築する場合には、路線情報の設定を運転手がGPS機器へ直接手作業で行うことにより、コストダウンを図ることが可能となると考えられます。

運用保守経費については、山梨県バス協会（複数のバス会社）負担としており、通信費の軽減のために現在地情報の発信頻度を変更する4段階のスイッチを設置して、運用検証により必要最小限の通信回数に抑えています。また、渋滞等で位置が変わらない場合には通信しない等の機能も入れることで通信費の軽減を図りました。

富士の国やまなし観光コンシェルジェシステムは多くの報道機関に取材され、地元新聞社の社説への掲載、NHKおはよう日本における関東甲信越エリアでの特集放映など取り上げられました。また、利用者数も順調に増加しています。システム稼働後の平成22年度後半頃から、スマートフォンの急激な普及を受けて、今後の対応について検討しております、さらに、外国人観光客への対応も進めたいと考えています。

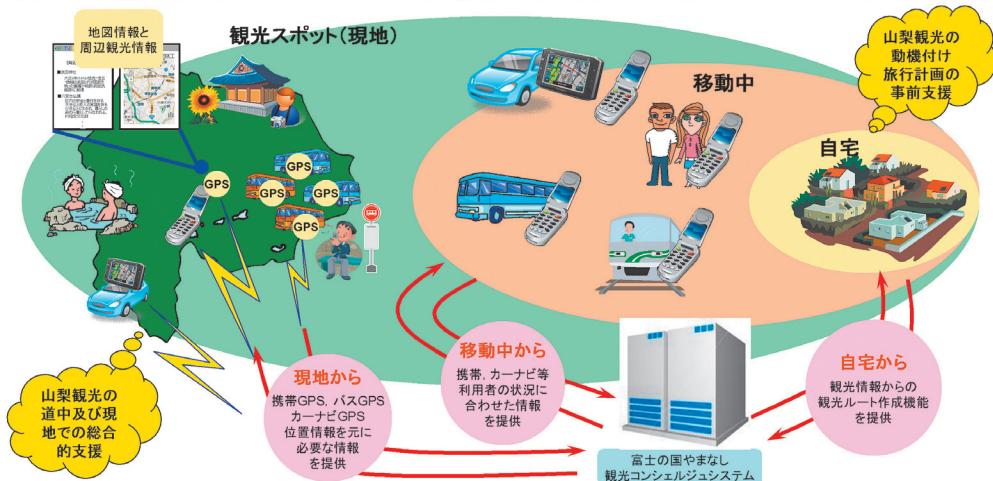
〔事業費（うち、国からの補助額・委託額等）〕

60百万円（60百万円：総務省 平成21年度 地域ICT利活用モデル構築事業）

2 先進的な事例紹介

富士の国やまなし観光コンシェルジュシステム イメージ詳細図 山梨県

実施団体名	運営主体(予定)	利活用分野	主なシステム機器など
山梨県	社団法人やまなし観光推進機構	観光	・バスロケーションシステム・観光ルート作成機能 ・カーナビ連動システム・動画投稿・配信機能・GPS位置関連情報システム
事業概要			山梨県を訪れる観光客の旅行サポートシステムの構築事業(観光ルートの作成機能、携帯電話及びPC環境への観光情報とバス進行情報の連動提供機能の開発、動画の投稿・配信機能など)



(問い合わせ先)

山梨県観光部観光振興課

山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL:055-223-1557 FAX:055-223-1558

e-mail:kankou-sk@pref.yamanashi.lg.jp